

渋谷に高さ230mの屋外展望台

2017年 6月 12日

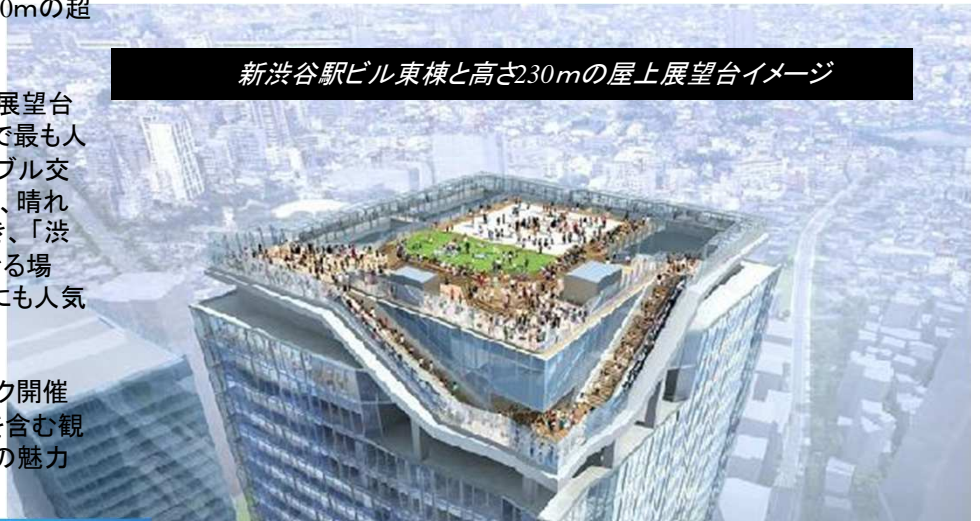
2019年開業予定

渋谷駅ビル東棟はヒカリエから明治通りを挟んだ向かい側に建設中の47階建て230mの超高層ビル。

その屋上(48階)に設けられる予定の展望台は高さ230m、面積約3000㎡で、世界で最も人通りが多いともいわれる渋谷スクランブル交差点やハチ公前広場を見下せるほか、晴れた日には富士山まで見渡すことができ、「渋谷の圧倒的なダイナミズムを体感できる場所」になるとのこと。国内外の観光客にも人気の場所となりそう。

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定にともない、訪日外国人旅行者を含む観光客の増加が見込まれるため、都市の魅力をさらに高めるべく、決断したという

新渋谷駅ビル東棟と高さ230mの屋上展望台イメージ



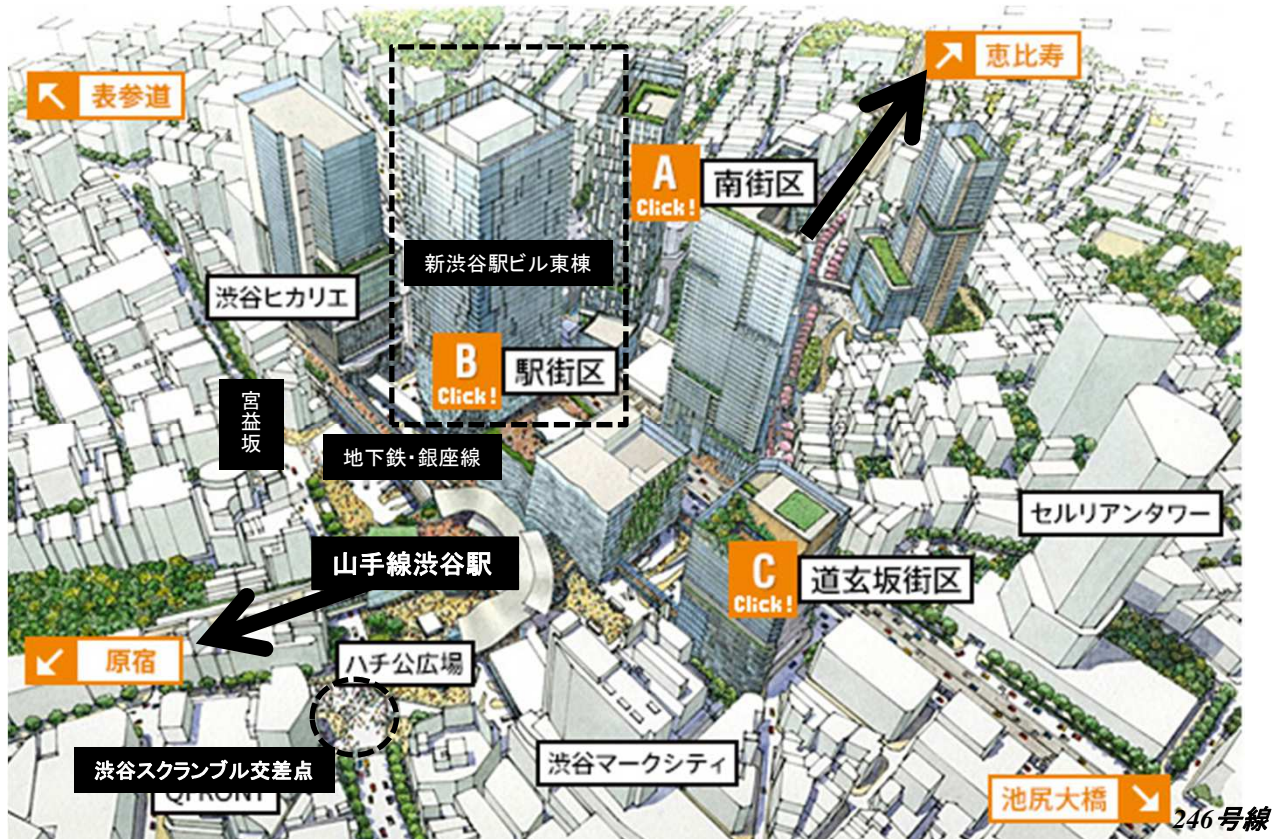
展望施設から富士山を望む(資料:東京急行電鉄)



高さ183mの超高層ビル「渋谷ヒカリエ」を超える、渋谷で最も高い位置からは、視界を遮られることなく東京の景色が一望できるようになる。

事業主は東京急行電鉄、JR東日本、東京メトロの3社。

周囲は全面ガラス張りの回廊となり、一部に階段状の高低差を設ける。南東には東京スカイツリーや東京タワー、北側には新宿の超高層ビル群、西側には富士山などの眺望が広がるほか、スクランブル交差点を見下ろすことができる。バーカウンターも設ける予定だ。45・46階は屋内の展望施設となり、ラウンジなどを設置する。



246号線